

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公表番号】特表 2014-520068 (P2014-520068A)

【公表日】平成 26 年 8 月 21 日 (2014.8.21)

【年通号数】公開・登録公報 2014-044

【出願番号】特願 2014-505323 (P2014-505323)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/498 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/498

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 11/02

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 31/12

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 8 日 (2015.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- 2 アドレナリン受容体に対して、 - 1 アドレナリン受容体と比較して 300 倍以上の結合親和性を有する選択的 - 2 アドレナリン受容体作動薬または医薬として許容されるその塩を含む組成物であって、pH が約 4.0 と約 8.5 の間である、組成物。

【請求項 2】

選択的 - 2 アドレナリン受容体作動薬が、ロフェキシジン、アブラクロニジン、ミバゼロール、クロニジン、プリモニジン、メチルドーパ、グアンファシン、デクスメトミジン、(+)-(S)-4-[1-(2,3-ジメチル-フェニル)-エチル]-1,3-ジヒドロ-イミダゾール-2-チオン、1-[(イミダゾリジン-2-イル)イミノ]インダゾールおよびこれらの化合物の混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

- 2 アドレナリン受容体作動薬が、約 0.001 重量/体積% から約 0.05 重量/体積% の間の濃度で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

- 2 アドレナリン受容体作動薬が、約 0.01 重量/体積% から約 0.025 重量/体積% の間の濃度のプリモニジンである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

組成物が約 0.1 から約 0.5 重量/体積% の間の塩化カリウムをさらに含み、 - 2 アドレナリン受容体作動薬がプリモニジンであり、プリモニジンの濃度が約 0.01 重量/体積% から約 0.025 重量/体積% の間であり、組成物の pH が約 5.0 と約 8.0

の間である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

鼻の状態を治療する必要がある患者の鼻の状態を治療する方法であって、医薬として有効な量の請求項 1 に記載の組成物を患者に投与するステップを含む、方法。

【請求項 7】

鼻の状態が最小限の鼻甲介腫脹と共に重度の鼻汁を伴っている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

鼻の状態が血管運動性鼻炎を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

鼻の状態が鼻甲介のかなりの肥大および / または鼻道の物理的な閉塞を伴っている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

鼻の状態がアレルギー性鼻炎、ウイルス性鼻炎および睡眠時無呼吸からなる群から選択される状態を含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

選択的 - 2 アドレナリン受容体作動薬がかなりの粘膜への浸透および粘膜下への透過を達成するために十分な親油性のプリモニジンである、請求項 9 に記載の方法。